

# アジア・太平洋地域の貿易構造

農林水産政策研究所

河原昌一郎・井上荘太郎・明石光一郎  
(アジア・太平洋貿易研究チーム)

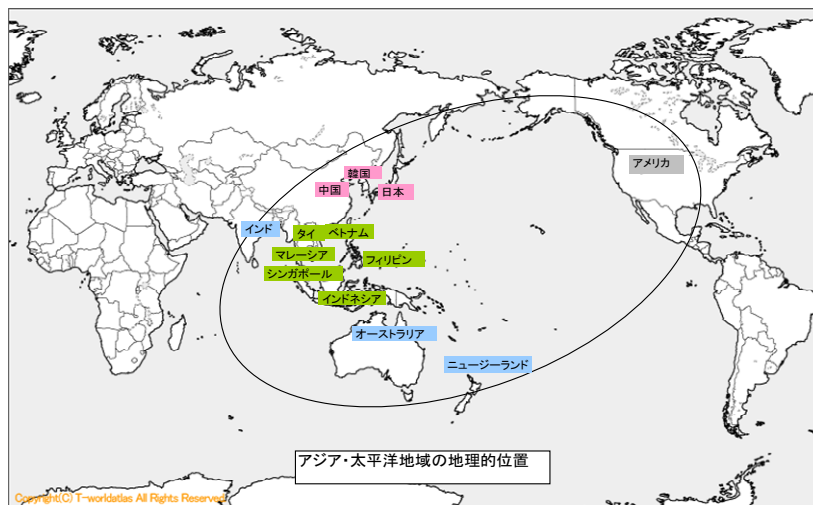
平成22年9月14日

## 本報告の内容

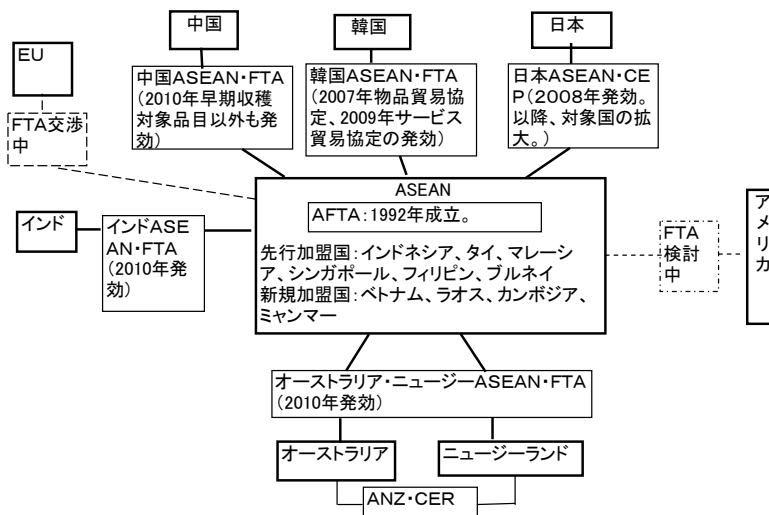
- 1 アジア太平洋の地理的位置と各種フォーラムの形成
- 2 アジア太平洋諸国の経済的地位
- 3 アジア太平洋諸国内の貿易と貿易結合度
- 4 アジア太平洋諸国内の品目別貿易動向と輸出競争力
- 5 アジア太平洋諸国の基本的貿易構造
- 6 アジア太平洋諸国の貿易のシェアの変化
- 7 アジア太平洋諸国の農林水産物貿易

# 1 アジア太平洋の地理的位置と各種フォーラムの形成

## アジア・太平洋地域の地理的位置



## ASEANを中心とした経済連携の進展 (「ASEAN+1」FTAの形成)



## ASEANを中心とした各種フォーラムの重層的形成

アジア・太平洋地域の各種フォーラム

フォーラムの名称	主な目的	参加国等
東アジア首脳会議 (East Asia Summit)	地域共通の問題に関して首脳主導での具体的協力の進展	ASEAN諸国、日本、韓国、中国、インド、オーストラリア、ニュージーランド
ASEAN+3	ASEANと日中韓で幅広い分野での協力の推進	ASEAN諸国、日本、韓国、中国
APEC (Asia-Pacific Economic Cooperation)	アジア太平洋地域の持続可能な発展のための経済協力	ASEAN諸国(カンボジア、ミャンマー、ラオスを除く。)、日本、韓国、中国、オーストラリア、ニュージーランド、ロシア、アメリカ、カナダ、パプアニューギニア、台湾、香港、メキシコ、チリ、ペルー
ASEAN・PMC (ASEAN Post-Ministerial Conference)	ASEANとその域外対話国・機関との対話の場	ASEAN諸国、日本、韓国、中国、インド、オーストラリア、ニュージーランド、ロシア、アメリカ、カナダ、EU
ASEM (Asia-Europe Meeting)	アジアと欧州が、経済、政治、文化的交流といった幅広い分野で対話や協力をを行う場	ASEAN諸国、日本、韓国、中国、インド、モンゴル、パキスタン、EU
ARF (ASEAN Regional Forum)	アジア太平洋における政治、安全保障分野を対象とする対話フォーラム	ASEAN諸国、日本、韓国、中国、インド、オーストラリア、ニュージーランド、ロシア、アメリカ、カナダ、モンゴル、パキスタン、パプアニューギニア、北朝鮮、EU

資料: 外務省ホームページ等から作成

注: 1) ARFに台湾はトラック2で参加。

2) EUはARF閣僚会合およびASEAN・PMCにはEUとして参加(加盟国個々は参加しない。)

## 本報告での研究対象国

- アジア太平洋地域では、ASEANを中心とした各種のフォーラムが形成されているが、アジア太平洋地域を構成する国家等の範囲についての定義や慣行的な取扱いがあるわけではない。
- 現実的には、「ASEAN+1」FTAを形成しているASEAN諸国、日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランドが同地域での経済貿易のほとんどをカバー。これら諸国は東アジア首脳会議の構成国でもあり、同地域の主たるメンバー国。これら諸国の貿易の相互関係、特色等を把握することは、今後の同地域における協力のあり方、将来像等を考察する上で有益。
- アメリカは同地域の多くのフォーラムに参加し、同地域と政治的、経済的に緊密な関係を有し、大きな影響力。同地域におけるいくつかの国と二国間でのFTAの締結、交渉を推進。



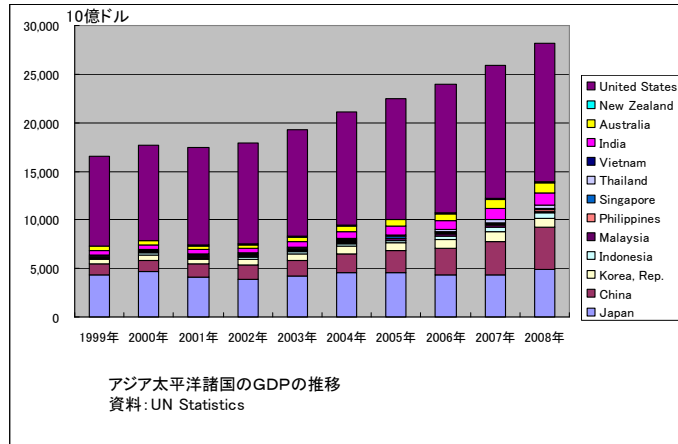
以上の事情等に鑑み、本報告では次の各国(以下「アジア太平洋諸国」と総称する。)を研究対象国とする。

[ASEAN諸国、日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ]

注:本報告では、貿易資料の制約から、全てのASEAN諸国を対象とすることができず、資料の利用が可能なタイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ベトナム(一部のみ)を対象とした。

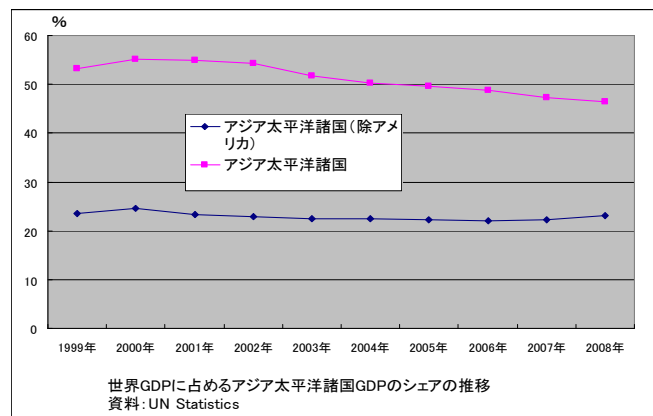
## 2 アジア太平洋諸国の経済的地位

## アジア太平洋諸国のGDPの推移



- ・中国をはじめ、2002年以降に全体として大きな伸び。
- ・日本は停滞。

## 世界に占めるアジア太平洋諸国のGDPシェア



- ・世界に占めるアジア太平洋諸国のGDPシェアは、アメリカを除けば世界でのシェアが4分の1程度でほぼ横ばいで推移。
- ・アメリカを含めると世界でのシェアは約50%となるが、シェアは徐々に減少。2005年以降は50%を下回る。

## アジア太平洋諸国の人口

人口の推移(単位:千人)

国名	2000年	2005年	2010年	2030年
Japan	126,706	127,449	126,995	117,424
China	1,266,954	1,312,253	1,354,146	1,462,468
Republic of Korea	46,429	47,566	48,501	49,146
Indonesia	205,280	219,210	232,517	271,485
Malaysia	23,274	25,633	27,914	35,275
Philippines	77,689	85,496	93,617	124,384
Singapore	4,018	4,267	4,837	5,460
Thailand	62,347	65,946	68,139	73,462
Viet Nam	78,663	84,074	89,029	105,447
India	1,042,590	1,130,618	1,214,464	1,484,598
Australia	19,171	20,395	21,512	25,656
New Zealand	3,868	4,111	4,303	4,972
United States of America	287,842	302,741	317,641	369,981
Area Total (A)	3,244,831	3,429,759	3,603,615	4,129,758
World (B)	6,512,276	6,908,688	6,908,688	8,308,895
A/B (%)	49.8	49.6	52.2	49.7

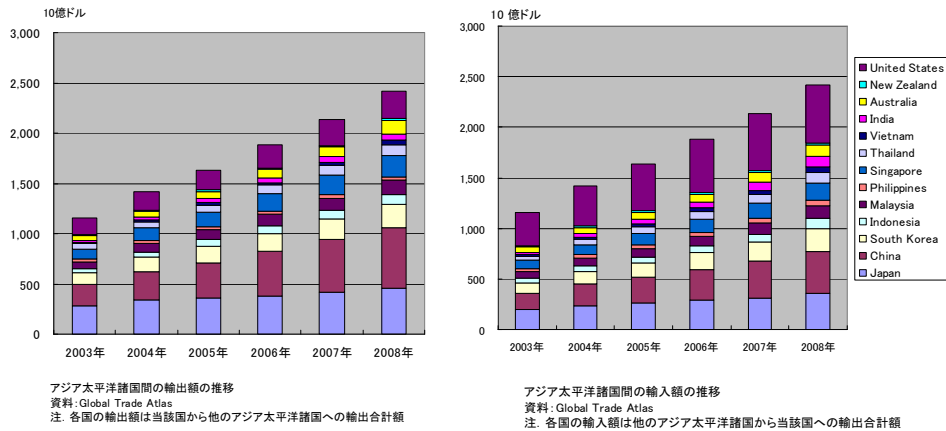
資料: UNComtrade

注: 2030年は予測値の中間値をとった。

- ・アジア太平洋諸国の人口は世界の約半分を占める。
- ・中国とインドの人口が突出して大きく、両国でアジア太平洋諸国の人口の70%以上を占める。

## 3 アジア太平洋諸国内の貿易と貿易結合度

## アジア太平洋諸国間の貿易



- ・アジア太平洋諸国間の輸出入額は5年間で2倍以上になる高い伸び。
- ・輸出額では中国が急速に拡大。
- ・アメリカは輸出額に比較して輸入額が極めて大きい。アジア太平洋諸国への市場の提供。

## アジア太平洋諸国間の貿易結合度

$$I_{ij} = (X_{ij} / X_i) / (M_j / M_A)$$

$I_{ij}$  は i 国の輸出の j 国との貿易結合度

$X_{ij}$  は i 国から j 国への輸出額

$X_i$  は i 国のアジア太平洋諸国への輸出総額

$M_j$  は j 国のアジア太平洋諸国からの輸入総額

$M_A$  はアジア太平洋諸国間の輸入（輸出）総額

- ・貿易結合度は2国間の貿易関係の緊密度を測る指標。
- ・2国の相互の貿易結合度 (i国からj国への輸出およびj国からi国への輸出の貿易結合度) がともに1より大きいときはその2国の貿易の緊密度は高いものと判定することができる。
- ・アジア太平洋では、相互に貿易結合度の高い次の3つのグループが形成。
  - ①アメリカと日本、中国、韓国の東アジア諸国とのグループ
  - ②ASEAN諸国のグループ
  - ③オーストラリアおよびニュージーランドの2国
- ・ただし、各国別の分析では、ASEAN諸国とその域外のアメリカ、日本、中国等との関係が十分に把握できない。また、2003年と2008年の相違も判然としない。

2003年の貿易結合度

	アメリカ	日本	中国	韓国	インド ネシア	マレー シア	フィリ ピン	シンガ ポール	タイ	インド	オース トラリア	ニュー ジール ランド
アメリカ	0.00	1.79	1.22	1.58	0.47	1.09	1.63	1.43	0.85	1.40	1.87	1.10
日本	1.42	0.00	1.44	1.37	0.80	0.69	1.16	0.76	1.45	0.39	0.82	0.63
中国	1.50	1.61	0.00	1.07	0.67	0.51	0.53	0.61	0.49	0.86	0.71	0.37
韓国	1.08	0.91	2.29	0.00	0.91	0.58	1.00	0.59	0.59	1.07	0.62	0.39
インドネシア	0.60	1.81	0.62	1.10	0.00	0.96	0.82	1.75	0.87	1.83	1.00	0.36
マレーシア	0.93	0.90	0.67	0.53	0.97	0.00	0.78	3.25	1.67	1.54	0.94	0.49
フィリピン	1.07	1.55	0.63	0.59	0.38	1.48	0.00	1.48	1.20	0.18	0.41	0.13
シンガポール	0.67	0.57	0.77	0.68	3.51	4.06	1.24	0.00	1.63	1.52	1.14	0.62
タイ	0.96	1.34	0.79	0.35	1.46	1.37	1.16	1.70	0.11	0.61	0.98	0.51
インド	1.73	0.45	0.87	0.37	1.36	0.65	0.56	1.35	0.87	0.00	0.59	0.34
オーストラリア	0.46	1.64	0.93	1.33	1.23	0.52	0.50	0.70	0.89	2.44	0.00	10.79
ニュージール ランド	0.78	1.02	0.58	0.67	0.66	0.49	0.94	0.26	0.46	0.44	7.76	0.00

資料: World Trade Atlasから作成

注: 2003年の貿易データとして、2002、03、04年の3年平均値を用いた。

2008年の貿易結合度

	アメリカ	日本	中国	韓国	インド ネシア	マレー シア	フィリ ピン	シンガ ポール	タイ	インド	オース トラリア	ニュー ジール ランド
アメリカ	0.00	1.58	1.44	1.36	0.48	0.87	1.31	1.35	0.79	1.40	1.72	1.08
日本	1.26	0.00	1.56	1.43	0.64	0.70	1.06	0.79	1.61	0.37	0.79	0.61
中国	1.76	1.33	0.00	1.21	0.68	0.69	0.72	0.78	0.63	1.15	0.81	0.47
韓国	0.86	0.85	2.31	0.00	0.80	0.49	1.05	0.93	0.60	0.84	0.53	0.44
インドネシア	0.55	1.81	0.68	1.01	0.00	1.32	1.11	1.75	0.95	1.62	0.88	0.53
マレーシア	0.78	0.99	0.81	0.61	1.11	0.00	0.94	2.88	1.83	1.09	1.12	0.73
フィリピン	1.09	1.67	0.89	0.76	0.43	1.27	0.00	1.30	1.20	0.16	0.32	0.25
シンガポール	0.49	0.53	0.84	0.68	4.04	3.74	1.52	0.00	1.59	1.22	1.37	0.97
タイ	0.82	1.32	0.93	0.36	1.40	1.73	1.56	1.34	0.00	0.73	1.72	0.76
インド	1.53	0.43	1.01	0.67	1.17	1.00	0.58	1.87	0.85	0.00	0.52	0.41
オーストラリア	0.31	1.95	1.29	1.21	0.73	0.47	0.41	0.51	0.85	1.95	0.00	7.23
ニュージール ランド	0.68	0.90	0.58	0.57	0.91	0.59	1.23	0.49	0.63	0.44	7.88	0.00

資料: World Trade Atlasから作成

注: 2008年の貿易データとして、2007、08、09年の3年平均値を用いた。

2003年の貿易結合度

	アメリカ	日本	中国	韓国	ASEAN	インド	オース トラリ ア	ニュー ジール ランド
アメリカ	0.00	1.63	1.11	1.44	1.67	1.27	1.70	1.00
日本	1.29	0.00	1.31	1.25	1.35	0.36	0.75	0.57
中国	1.37	1.47	0.00	0.98	0.85	0.78	0.65	0.34
韓国	0.99	0.83	2.09	0.00	1.00	0.97	0.56	0.35
ASEAN	1.13	1.47	1.00	0.90	0.00	1.83	1.38	0.69
インド	1.58	0.41	0.79	0.33	1.47	0.00	0.54	0.31
オーストラリア	0.42	1.49	0.85	1.21	1.10	2.23	0.00	9.85
ニュージール ランド	0.72	0.93	0.53	0.61	0.73	0.40	7.08	0.00

資料: World Trade Atlasから作成

注: 1) 2003年の貿易データとして、2002、03、04年の3年平均値を用いた。  
2) ASEANはインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の集計値。

2008年の貿易結合度

	アメリカ	日本	中国	韓国	ASEAN	インド	オース トラリ ア	ニュー ジール ランド
アメリカ	0.00	1.44	1.31	1.24	1.45	1.28	1.57	0.99
日本	1.15	0.00	1.43	1.31	1.35	0.34	0.72	0.55
中国	1.61	1.21	0.00	1.11	1.05	1.05	0.74	0.42
韓国	0.78	0.77	2.11	0.00	1.12	0.77	0.48	0.40
ASEAN	0.93	1.50	1.16	0.94	0.00	1.56	1.75	1.07
インド	1.40	0.39	0.92	0.61	1.84	0.00	0.47	0.37
オーストラリア	0.28	1.78	1.17	1.10	0.87	1.78	0.00	6.60
ニュージール ランド	0.62	0.82	0.53	0.52	1.01	0.40	7.19	0.00

資料: World Trade Atlasから作成

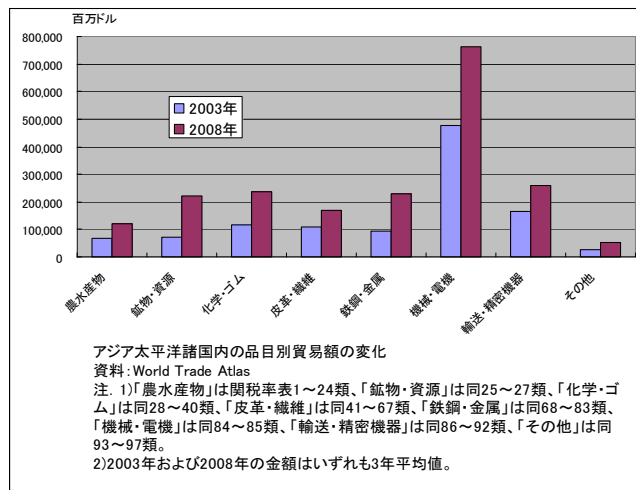
注: 1) 2008年の貿易データとして、2007、08、09年の3年平均値を用いた。  
2) ASEANはインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の集計値。

- ・2003年はアメリカ、日本、中国、韓国のグループと、アメリカ、日本、ASEAN、インドのグループとが別々に形成。中国とASEANとの貿易結合度は高くなかった。
- ・2008年は中国がASEANとの貿易結合度を高めたことによって、アメリカ、日本、中国、ASEAN、の一体的な貿易グループが形成されていることが確認できる。
- ・アメリカ、日本、中国、ASEANの貿易の緊密化の要因をみるためには、品目別の貿易動向をみる必要。



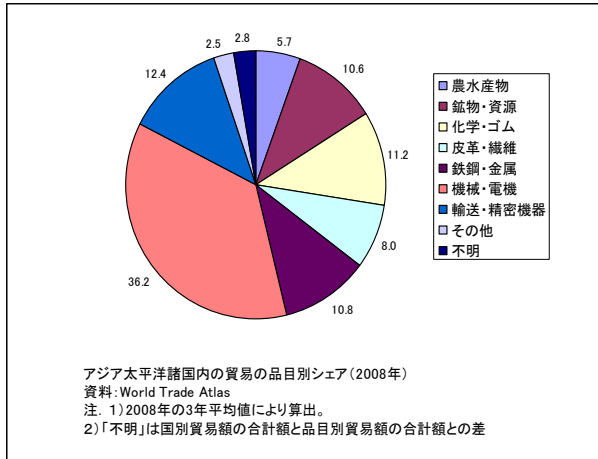
## 4 アジア太平洋諸国内の品目別貿易動向と輸出競争力

### アジア太平洋諸国内の品目別貿易動向



- ・アジア太平洋諸国内の品目別貿易では、資源、原料を含む「鉱物・資源」、「化学・ゴム」および「鉄鋼・金属」の伸び率が高い。
- ・増加額では「機械・電機」が最大。
- ・「農水産物」および「皮革・繊維」の伸びは比較的小さなものにとどまる。

## アジア太平洋諸国内の貿易の品目別シェア



- ・アジア太平洋諸国内の貿易で最もシェアの高いのは「電機・機械」で36.2%を占める。
- ・伸び率の高い「鉱物・資源」、「化学・ゴム」および「鉄鋼・金属」はいずれもシェアが10%を超えるようになっている。
- ・「農水産物」のシェアは5.7%。

## アジア太平洋諸国の品目別輸出競争力

$$C_i = (\sum_j X_{ij} - \sum_j M_{ij}) / (\sum_j X_{ij} + \sum_j M_{ij})$$

$C_i$  は当該国の  $i$  品目の輸出競争力指数

$X_{ij}$  は当該国の  $i$  品目の  $j$  国 (アジア太平洋諸国) への輸出額

$M_{ij}$  は当該国の  $i$  品目の  $j$  国 (アジア太平洋諸国) からの輸入額

- ・輸出競争力指数は、ある品目の輸出(輸入)超過額が当該品目の輸出入合計額に占める比率を示したものであり、-1から+1までの値をとる。
- ・ASEAN諸国を国別に見た場合、「鉄鋼・金属」および「輸送・精密機械」に輸出競争力がないのは概ね共通した傾向のようであるが、他の品目は輸出競争力のある国とない国とが入り混じっていて、ASEAN諸国と日本、中国、アメリカとの関係がわかりにくい。
- ・そこで、ASEAN諸国はASEANとしてひとまとめにして考察。

2003年各国品目別輸出競争力指数

	全品目	農水産物	鉱物・資源	化学・ゴム	皮革・繊維	鉄鋼・金属	機械・電機	輸送・精密機器	その他
日本	0.18	-0.90	-0.87	0.28	-0.59	0.33	0.32	0.62	-0.30
中国	0.15	0.28	-0.11	-0.25	0.54	0.09	0.12	-0.10	0.91
韓国	0.04	-0.49	-0.19	-0.00	0.08	-0.06	0.14	0.25	-0.09
インドネシア	0.08	0.20	0.66	-0.14	0.45	-0.10	-0.35	-0.58	0.47
マレーシア	0.04	0.10	0.52	-0.02	0.19	-0.30	0.03	-0.39	0.50
フィリピン	-0.14	-0.21	-0.52	-0.75	0.20	-0.46	-0.03	-0.27	0.22
シンガポール	0.10	-0.23	0.11	0.31	-0.05	-0.14	0.18	-0.26	-0.18
タイ	0.04	0.61	0.02	0.04	0.36	-0.28	-0.04	-0.10	0.63
インド	-0.05	0.16	-0.00	-0.20	0.38	0.37	-0.72	-0.56	0.13
オーストラリア	-0.01	0.57	0.57	-0.39	-0.15	0.28	-0.66	-0.67	-0.61
ニュージーランド	-0.05	0.63	-0.49	-0.17	0.37	0.12	-0.46	-0.70	-0.49
アメリカ	-0.34	0.28	-0.11	-0.01	-0.57	-0.45	-0.39	-0.38	-0.75
ASEAN	0.07	0.26	0.61	0.05	0.35	-0.33	0.07	-0.40	0.50

資料:World Trade Atlas

注: 1)2003年の貿易データは3年平均値。

2)ASEANはインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの集計値。

2008年各国品目別輸出競争力指数

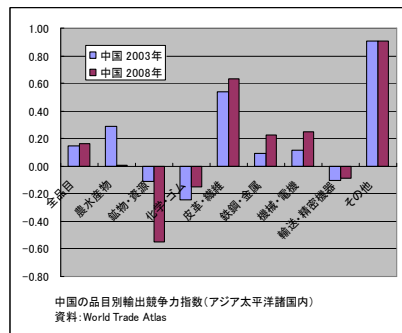
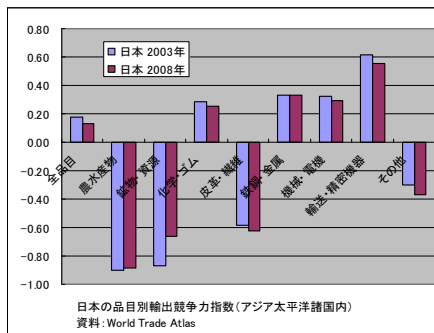
	全品目	農水産物	鉱物・資源	化学・ゴム	皮革・繊維	鉄鋼・金属	機械・電機	輸送・精密機器	その他
日本	0.13	-0.88	-0.66	0.25	-0.62	0.33	0.29	0.56	-0.37
中国	0.17	0.00	-0.55	-0.15	0.63	0.23	0.25	-0.09	0.91
韓国	0.02	-0.58	-0.14	0.06	-0.13	-0.19	0.11	0.43	-0.31
インドネシア	0.02	0.31	0.43	-0.10	0.29	-0.06	-0.51	-0.48	0.17
マレーシア	0.04	0.17	0.43	0.03	-0.05	-0.28	0.04	-0.38	0.21
フィリピン	-0.22	-0.35	-0.51	-0.68	-0.06	-0.46	-0.35	-0.47	-0.37
シンガポール	0.10	-0.18	0.09	0.30	-0.18	-0.17	0.23	-0.32	-0.29
タイ	0.06	0.51	0.15	0.15	0.20	-0.25	0.00	0.11	0.35
インド	-0.29	-0.06	-0.01	-0.38	0.20	-0.14	-0.74	-0.44	-0.27
オーストラリア	0.08	0.44	0.61	-0.42	-0.24	0.17	-0.72	-0.71	-0.78
ニュージーランド	-0.05	0.59	-0.25	-0.30	0.26	0.08	-0.49	-0.66	-0.60
アメリカ	-0.34	0.29	-0.03	-0.01	-0.62	-0.28	-0.48	-0.28	-0.80
ASEAN	0.06	0.29	0.46	0.12	0.11	-0.32	0.06	-0.39	0.09

資料:World Trade Atlas

注: 1)2008年の貿易データは3年平均値。

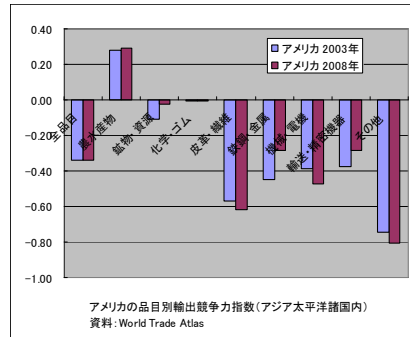
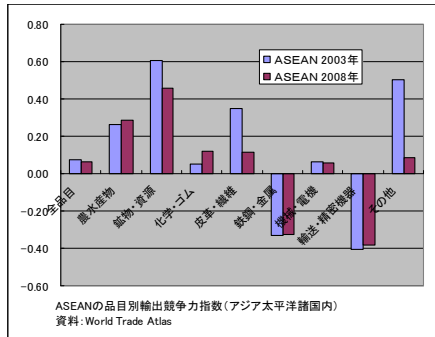
2)ASEANはインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの集計値。

## 主要国の輸出競争力指数(日本、中国)



- ・日本:「農水産物」、「鉱物・資源」、「皮革・繊維」の指数が大きくマイナスとなっており、農業、労働集約型産業に競争力がなく、また、資源、原料を外国に依存している状況を示している。
- ・中国:「農水産物」は2008年は輸出入がほぼ均衡。「鉱物・資源」のマイナス値が大きく拡大しており、資源輸入が急激に増加していることを示す。労働集約型産業である「皮革・繊維」は強い競争力。「鉄鋼・金属」および「機械・電機」は値は大きくないものの、プラス値を伸ばしていく傾向。

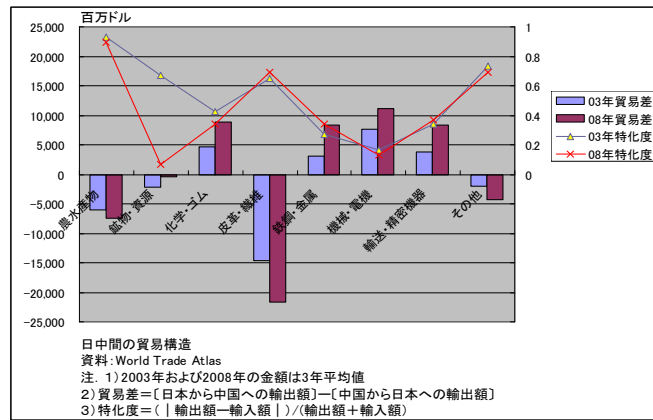
## 主要国の輸出競争力指数(ASEAN、アメリカ)



- ・ASEAN:「農水産物」は一定の輸出競争力。「鉱物・資源」は輸出国(地域)としての地位。「化学・ゴム」の輸出力も増加。「皮革・繊維」は輸出競争力を維持しているが、以前より大きく減少。「鉄鋼・金属」および「輸送・精密機器」は輸入国の地位にとどまるが、「機械・電機」は競争力を有する。
- ・アメリカ:アジア太平洋諸国内では全体として大幅な輸入超過。「農水産物」のみが輸出超過。「皮革・繊維」は輸入幅が拡大。「鉄鋼・金属」、「機械・電機」、「輸送・精密機械」のいずれも競争力がないが、とりわけ「機械・電機」はマイナス値が拡大。

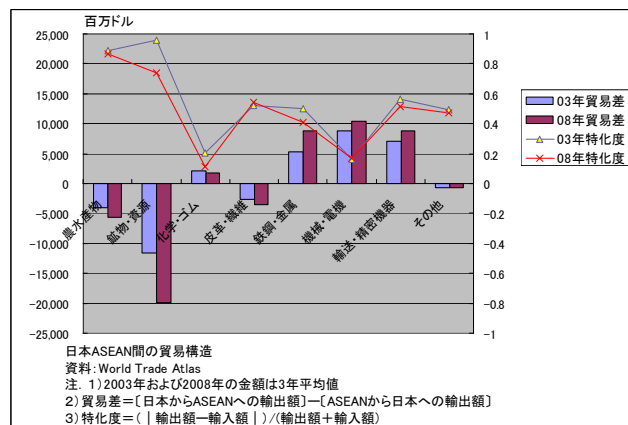
## 5 アジア太平洋諸国の基本的貿易構造

## 主要な二国間貿易構造(日本-中国)



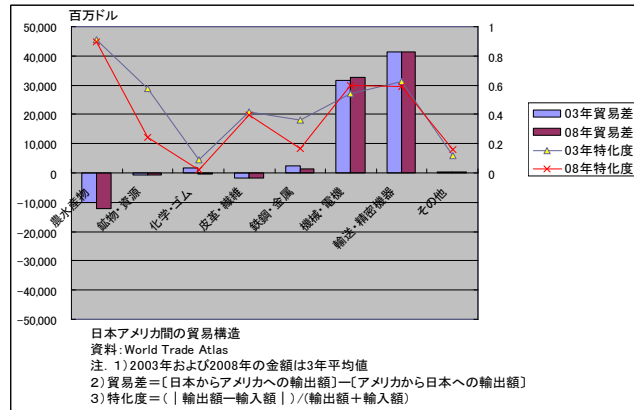
- ・日本から最も大きな輸出超過となっているのは「機械・電機」。ただし、輸出、輸入額がともに大きいことから特化度は低い。
- ・「農水産物」は日本の輸入超過で特化度が最も高い。
- ・日本の最も大きな輸入超過となっているのは「皮革・繊維」で、特化度は高く、金額も拡大している。

## 主要な二国間貿易構造(日本-ASEAN)



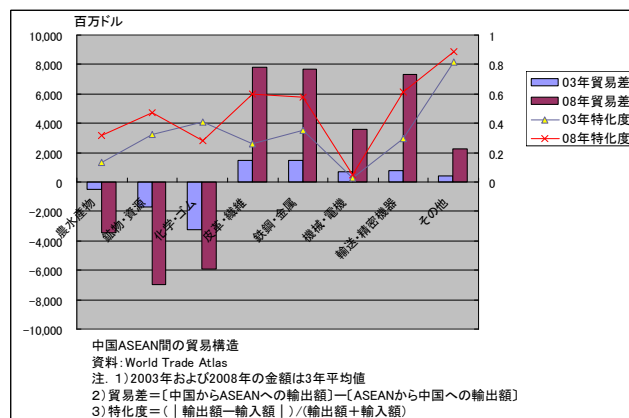
- ・日本の輸入超過は「農水産物」、「鉱物・資源」、「皮革・繊維」であり、「農水産物」と「鉱物・資源」は特化度が極めて高い。また、「鉱物・資源」の輸入超過額は大きく増加。
- ・日本からの輸出超過は「鉄鋼・金属」、「機械・電機」、「輸送・精密機器」であるが、「機械・電機」の特化度は低い。

## 主要な二国間貿易構造(日本－アメリカ)



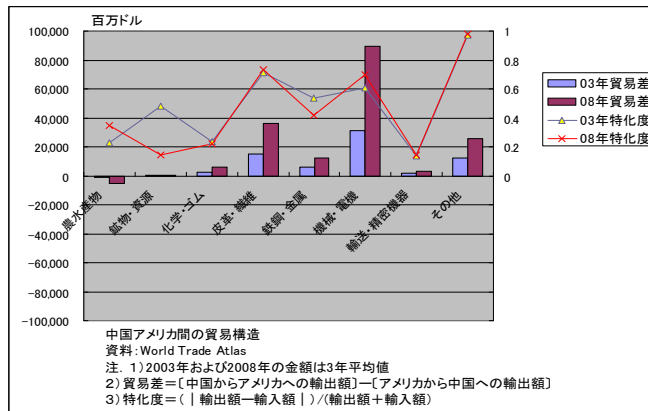
- ・日本の輸入超過では「農水産物」が最も大きく、特化度は高い。
- ・日本からアメリカには「機械・電機」、「輸送・精密機器」が大きな輸出超過となっており、特化度も比較的高い。
- ・全体として、2003年と2008年との貿易構造にはほとんど変化がない。

## 主要な二国間貿易構造(中国－ASEAN)



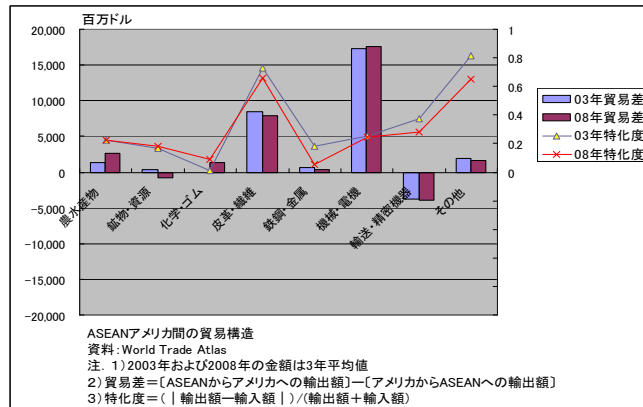
- ・2003年と2008年とでは全体としてそれぞれの品目で貿易差が大きく拡大。
- ・「皮革・繊維」、「鉄鋼・金属」、「輸送・精密機器」で中国は輸出超過額を著しく拡大させ、特化度も大きく高めている。
- ・「機械・電機」は中国・ASEANの双方向の貿易額が大きいことから、特化度は低い。
- ・「農水産物」、「鉱物・資源」、「化学・ゴム」は中国の輸入超過額が拡大。特に「鉱物・資源」が大きく拡大。

### 主要な二国間貿易構造(中国ーアメリカ)



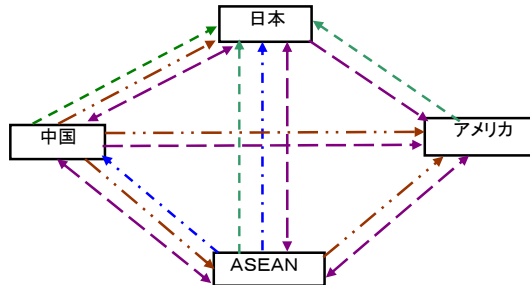
- 中国とアメリカとの貿易は、「農水産物」で中国が若干の輸入超過となっている以外は、ほぼ全品目で中国の輸出超過。
- 中国からアメリカへの輸出超過が大きいのは労働集約的生産品である「皮革・繊維」と加工貿易の対象である「機械・電機」。いずれも2003年から2008年にかけて輸出超過額を著しく拡大させており、特化度も高く、一方的な輸出となっている。「機械・電機」だけで、中国の輸出超過額は約900億ドルに及ぶ。

### 主要な二国間貿易構造(ASEANーアメリカ)



- ASEANのアメリカへの輸出超過品目は「農水産物」、「皮革・繊維」、「機械・電機」。このうち、「機械・電機」はASEAN諸国に進出している日米欧の企業による加工貿易によるもの。
- 2003年と2008年で大きな変化は見られない。

## 日本、中国、ASEAN、アメリカの基本的貿易構造



日本、中国、ASEAN、アメリカの基本的貿易構造  
資料:筆者作成

- 注. 1)   
 1) 農水産物 (緑色矢)   
 2) 鉱物・資源 (青色矢)   
 3) 皮革・繊維 (オレンジ色矢)   
 4) 機械・電機 (紫色矢)   
 2) 貿易差、特化度から勘案して強い一方向性を有するものは一方向の矢で、両方向性を有するものは二方向の矢で表示した。

- ・農水産物については中国、ASEAN、アメリカから日本への強い一方向性。
- ・鉱物・資源については、ASEANから中国、日本への強い一方向性。
- ・皮革・繊維については、中国からアメリカ、日本への強い一方向性。最近では中国からASEANへの一方向性も急速に強まる。
- ・機械・電機については中国、日本からアメリカへの強い一方向性。日本と中国、中国とASEAN、ASEANとアメリカの間はそれぞれ双方向的。日本およびASEANから中国への輸出には中国の加工貿易(アメリカ向け)のための部品、半製品が多く含まれる。

## 中国の加工貿易〔担い手〕

貿易方式・企業形態別輸出額(2007年)

	一般貿易	企業形態比率	加工貿易	企業形態比率	その他	企業形態比率	合計	企業形態比率
国有企業	143,621,266	26.7	59,873,920	9.7	21,430,665	34.7	224,925,851	18.5
外資企業	153,773,453	28.6	521,392,373	84.4	20,204,943	32.7	695,370,769	57.1
その他	241,061,976	44.8	36,293,962	5.9	20,123,198	32.6	297,479,136	24.4
合計	538,456,695	100.0	617,560,255	100.0	61,758,806	100.0	1,217,775,756	100.0

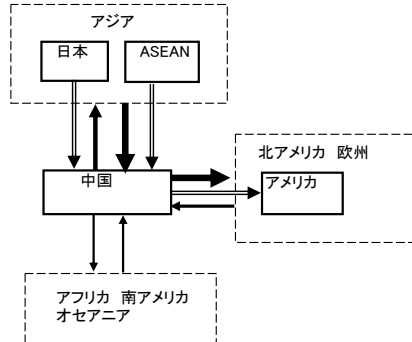
資料:中国海関統計年鑑2007

- 注. 1) 企業形態比率は各貿易方式において各企業形態の占める比率。  
 2) 「外資企業」は合作企業、合資企業、独資企業をいう。

- ・加工貿易は中国の輸出の約半分を占める。
- ・中国の加工貿易はそのほとんどを外資企業が担っている。
- ・一般貿易を含めた輸出全体を見ても、外資企業の果たす役割は大きい。



## 中国の加工貿易〔基本的構造〕



中国の基本的貿易構造  
 資料：河原昌一郎・明石光一郎(2010年)「中国の加工貿易とFTA戦略」『農林水産政策研究No.17』46ページから転載。  
 注：1)→は加工貿易に関する基本的な流れ  
 2)実線の矢印は貿易全体の流れで、矢印の太さは相対的な貿易量の大きさを反映させた。

- ・日本、ASEAN(多国籍企業)は中国に部品、半製品を提供し、中国に進出している多国籍企業が中国で完成品にして主としてアメリカに輸出する。
- ・中国の加工貿易は、日本、中国、ASEAN、アメリカの貿易構造の枠組みを規定する大きな要因となっている。

## 中国の資源輸入

中国の「鉱物・資源」の輸入 単位：百万ドル

	2003年	2008年	08年/03年
日本	547	3,034	5.5
韓国	1,992	6,559	3.3
ASEAN	3,451	10,904	3.2
インド	1,021	5,450	5.3
オーストラリア	2,163	18,209	8.4
ニュージーランド	17	36	2.1
アメリカ	302	1,364	4.5
合計	9,493	45,556	4.8

資料：World Trade Atlas  
 注：数値はいずれも3年平均値。

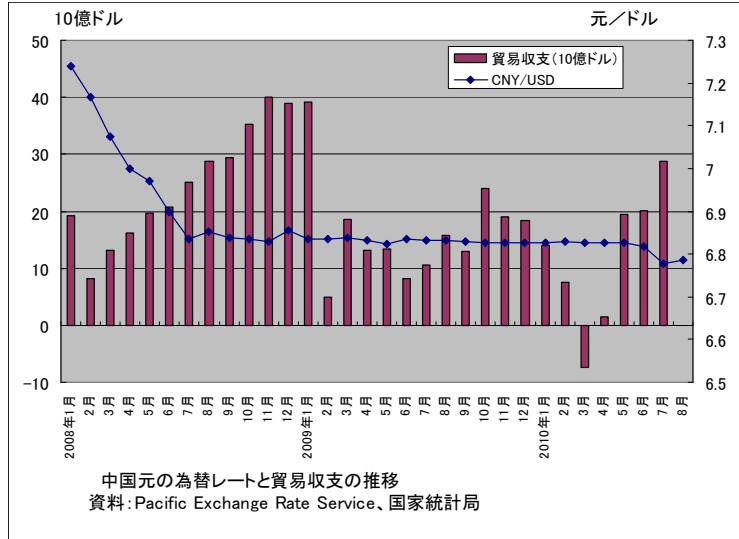
オーストラリアの「鉱物・資源」の輸出 単位：百万ドル

	日本	中国	韓国	ASEAN	インド	ニュージーランド	アメリカ	合計
2003年	6,114	2,163	2,425	1,461	947	536	516	14,162
(%)	43.2	15.3	17.1	10.3	6.7	3.8	3.6	100.0
2008年	20,018	18,209	8,134	3,731	4,504	726	573	55,895
(%)	35.8	32.6	14.6	6.7	8.1	1.3	1.0	100.0

資料：World Trade Atlas  
 注：数値はいずれも3年平均値。

- ・中国の「鉱物・資源」の輸入は5年間で約5倍に急増。
- ・オーストラリアから中国への「鉱物・資源」の輸出が急増し、オーストラリアの「鉱物・資源」の輸出に占める中国のシェアは大きく拡大。

## 中国の為替レート



## 6 アジア太平洋諸国の貿易のシェア の変化

## アジア太平洋諸国内の輸出入のシェアの変化

アジア太平洋諸国内の輸出入のシェアの変化

国名	2003年(3年平均)		2008年(3年平均)	
	輸出	輸入	輸出	輸入
日本	24.8	17.3	19.0	14.7
中国	18.6	13.8	25.7	18.3
韓国	9.9	9.1	9.7	9.4
インドネシア	3.8	3.3	4.2	4.0
マレーシア	6.3	5.8	5.8	5.3
フィリピン	2.0	2.7	1.4	2.2
シンガポール	8.7	7.2	8.9	7.3
タイ	4.3	4.0	4.5	4.0
インド	1.9	2.1	2.5	4.6
オーストラリア	4.2	4.2	5.4	4.6
ニュージーランド	0.9	1.0	0.8	0.9
アメリカ	14.5	29.5	12.1	24.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0

資料: World Trade Atlas

注. 1) 2時点比較の分析として、2003年の値は2002、03、04年の3年平均値、2008年の値は2007、08、09年の3年平均値をとった。

2) 輸出額のシェアは、アジア太平洋諸国内の輸出総額のうち当該国の他のアジア太平洋諸国への輸出合計額の占める比率。輸入額のシェアは同輸出総額のうち他のアジア太平洋諸国から当該国への輸出合計額の占める比率。

3) ベトナムは2002年以前および2009年のデータが利用不可のため、2時点比較の分析に含めなかった。

- ・アジア太平洋諸国内の貿易では、日本、中国、ASEAN(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ)、アメリカの4カ国・地域がそれぞれの10%を超えるシェアを有し、これら4カ国・地域で全体の80%以上の貿易をカバーする。
- ・これら4カ国・地域の貿易構造がアジア太平洋諸国内の基本的な貿易構造を形成。ただし、オーストラリアの資源輸出等、特徴的な動向にも留意が必要。
- ・国別の輸出入のシェアでは、中国がシェアを大きく拡大させる一方で、日本は縮小。
- ・アメリカもシェアを小さくしているが、輸入でのシェアは依然として最大。
- ・インドネシア、インド、オーストラリアのシェア拡大は注目されるところ。

## シェア効果から見たアジア太平洋諸国の貿易構造の変化

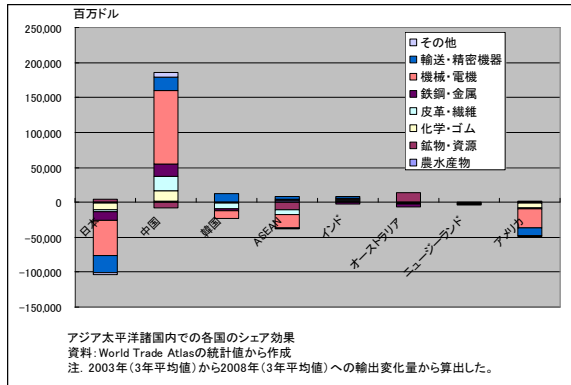
$$X_{ij}^1 - X_{ij}^0 = \underbrace{\left( \sum_i X_{ij}^1 - \sum_i X_{ij}^0 \right) \frac{X_{ij}^0}{\sum_i X_{ij}^0}}_{\text{〔市場効果〕}} + \underbrace{\left( X_{ij}^1 - \frac{X_{ij}^0}{\sum_i X_{ij}^0} \sum_i X_{ij}^1 \right)}_{\text{〔シェア効果〕}}$$

$X_{ij}^0$  は、0期(2003年)におけるi国のj国に対する輸出量

$X_{ij}^1$  は、1期(2008年)におけるi国のj国に対する輸出量

- ・「市場効果」は、輸出先市場(ここではj国)が拡大または縮小したことによる輸出量の変化(輸出先市場でのi国のシェアは変化していない。)
- ・「シェア効果」は、i国のj国に対する輸出量の変化のうち「市場効果」分を差し引いたもの。「シェア効果」分は輸出先市場でのi国の競争力を反映したものと考えられ、これによって、輸出先市場でのi国のシェアの変化がもたらされる。

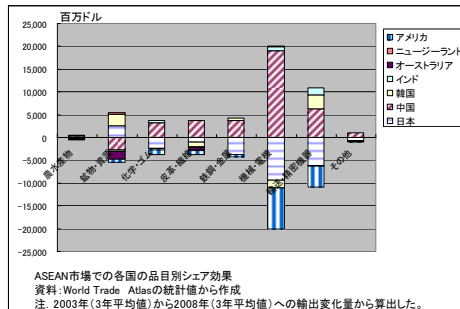
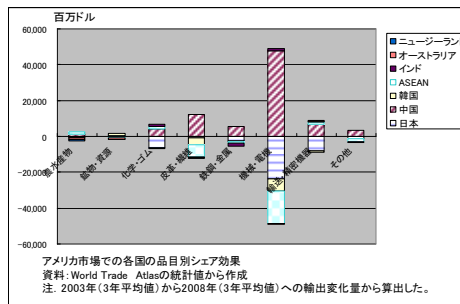
## アジア太平洋諸国内での各国のシェア効果(2003年→2008年)



	単位: 百万ドル							
	農水産物	鉱物・資源	化学・ゴム	皮革・繊維	鉄鋼・金属	機械・電機	輸送・精密機器	その他
日本	-579	4,659	-10,637	-2,848	-11,598	-50,931	-24,471	-1,946
中国	1,381	-7,793	15,115	20,814	17,949	105,259	18,402	7,086
韓国	-608	-1,167	837	-7,948	-2,557	-10,677	11,314	-638
ASEAN	2,457	-10,326	739	-7,582	631	-18,099	4,023	-2,632
インド	-190	2,026	1,540	33	-1,883	2,670	2,285	-16
オーストラリア	-1,869	13,647	-347	-717	-3,214	-436	-31	-250
ニュージーランド	-701	496	-697	-1,045	-795	-325	-27	-96
アメリカ	110	-1,542	-6,551	-707	1,468	-27,462	-11,495	-1,509

- ・2003年から2008年にかけては、アジア太平洋諸国内では中国が「鉱物・資源」を除く全ての分野でシェアを拡大。最も大きいのは「機械・電機」で、次いで「皮革・繊維」、「鉄鋼・金属」と続く。
- ・日本のシェア効果はマイナス幅が最大。次にマイナス幅が大きいのはアメリカ。
- ・ASEANも域内でのシェア効果は全体としてマイナス。
- ・オーストラリアは「鉱物・資源」で大きなプラスのシェア効果。

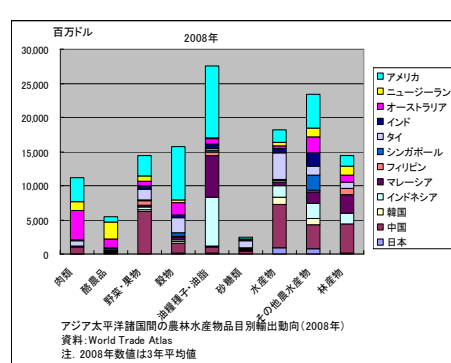
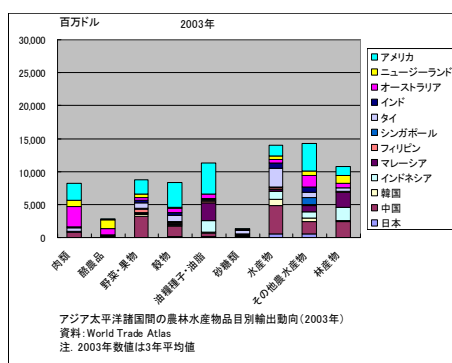
## アメリカ、ASEAN市場での各国の品目別シェア効果



- ・アジア太平洋諸国での重要な市場であるアメリカ、ASEANについて各国の品目別シェア効果を分析。
- ・アメリカ市場では中国が「機械・電機」、「皮革・繊維」で大きなシェア効果。これらの品目ではASEANはいずれもマイナスのシェア効果。
- ・ASEAN市場では「農水産物」、「鉱物・資源」以外の品目で中国が大きなシェア効果。ASEANとの間で中国が日本、アメリカのシェアを奪う形で貿易関係を拡大。中国とASEANの貿易結合度の上昇を反映。
- ・日本は、アメリカ市場およびASEAN市場においても、基本的に全品目でマイナスのシェア効果。(ASEAN市場で「鉱物・資源」のプラスのシェア効果があるのはポリ塩化ビフェニル等の石油加工品の輸出があるため。)

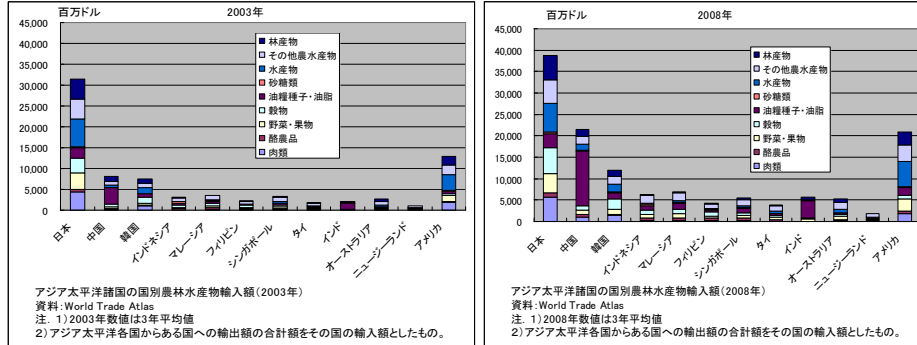
## 7 アジア太平洋諸国の農林水産物貿易

### アジア太平洋諸国の農林水産物品目別輸出



- ・アジア太平洋諸国間における農林水産物貿易は2003年から2008年かけて概ね倍増。特に大きく伸びているのは「油糧種子・油脂」、「水産物」、「穀物」、「野菜・果物」。
- ・「油糧種子・油脂」の輸出では、アメリカ、マレーシア、インドネシアの比率が大きい。「水産物」では中国、タイが、「野菜・果物」では中国の比率の大きさが目立つ。「穀物」ではアメリカの輸出が約半分を占める。
- ・「肉類」、「酪農品」では、オーストラリアとニュージーランドの比率が高い。

## アジア太平洋諸国の国別農林水産物輸入



- ・アジア太平洋諸国で農林水産物の大口輸入国は日本、中国、韓国、アメリカ。とりわけ日本の輸入額が圧倒的に大きい。中国も急増。
- ・日本の輸入は全品目に増加。中国は「油糧種子・油脂」の輸入が大幅に増加。
- ・アメリカは「水産物」の輸入増が目立つ。

## アジア太平洋諸国の農林水産物品別輸出競争力

各国の農林水産物品別輸出競争力(2008年)

	肉類	酪農品	野菜・果物	穀物	油糧種子・油脂	砂糖類	水産物	その他農水産物	林産物
日本	-1.00	-0.99	-0.98	-0.96	-0.95	-0.88	-0.75	-0.77	-0.97
中国	0.02	-0.65	0.73	0.14	-0.86	0.28	0.64	0.33	0.42
韓国	-0.98	-0.90	-0.62	-0.79	-0.82	-0.05	-0.29	-0.38	-0.96
インドネシア	-1.00	-0.75	-0.38	-0.67	0.78	-0.83	0.86	0.09	0.72
マレーシア	-0.89	-0.53	-0.61	-0.50	0.64	-0.10	0.01	-0.00	0.81
フィリピン	-0.88	-0.71	0.31	-0.90	0.06	-0.20	0.36	-0.59	0.68
シンガポール	-0.83	-0.47	-0.67	0.08	-0.62	-0.19	-0.38	0.16	-0.57
タイ	0.93	-0.67	0.53	0.59	-0.10	0.90	0.75	0.09	0.45
インド	1.00	0.47	-0.19	0.85	-0.72	0.25	0.99	0.74	-0.87
オーストラリア	0.95	0.62	-0.09	0.56	0.40	0.06	-0.27	0.15	0.19
ニュージーランド	0.88	0.96	0.49	0.23	-0.10	-0.07	0.54	0.27	0.91
アメリカ	0.30	0.27	0.03	0.79	0.70	-0.05	-0.52	0.11	-0.31

資料: World Trade Atlas  
注: 2008年の3年平均値から作成

- ・日本と韓国は全品目に輸出競争力がなく、一方的な農林水産物輸入国
- ・中国は「酪農品」と「油糧種子・油脂」はマイナスであるが、「野菜・果物」と「水産物」に強い競争力。
- ・インドネシア、マレーシアは「油糧種子・油脂」に強い競争力。
- ・タイ、インドは「肉類」、「穀物」、「水産物」を輸出。
- ・オーストラリアとニュージーランドは「肉類」と「酪農品」に強い競争力。
- ・アメリカは「穀物」、「油糧種子・油脂」等を輸出。

## おわりに

- ・アジア太平洋諸国間の貿易における2003年と2008年の比較では、中国の著しい貿易増加が大きな変動要因となっている。
- ・同期間において中国がASEAN諸国との貿易結合度を高めたことにより、従来のアメリカ、日本、ASEANのグループに中国を加えた新しい貿易グループの形成が見られる。
- ・中国の加工貿易（「機械・電機」の貿易）は、アジア太平洋諸国間における貿易構造の大きな規定要因。同期間において、中国からアメリカへの「機械・電機」の輸出が急増。
- ・中国の労働集約型商品（「皮革・繊維」）の輸出急増、一方での「鉱物・資源」の大幅な輸入拡大も同地域の貿易構造に影響。
- ・日本は、「農水産物」、「鉱物・資源」等を同地域から輸入する一方で、中国、ASEANを加工貿易の拠点として利用。ただし、アメリカ、ASEANへの「機械・電機」への輸出では中国が日本のシェアを奪う形でシェアを拡大。
- ・アメリカは同地域の貿易では、「農水産物」以外の品目は全て輸入超過となっており、同地域での巨大な市場を提供。同期間ではその性格に変化は見られない。
- ・農林水産物貿易では、中国の大豆輸入の増加を反映して、「油糧種子・油脂」の大幅な貿易増加が目立つ。